

「平成27年度主要農作物品種審査会(水稲・大豆)」会議録

1 日 時：平成28年2月9日(火)

2 場 所：宮城県行政庁舎9階 第一会議室

3 出席者

- (1) 審査会委員：齋藤満保, 菅原悟, 井城克寛, 國分牧衛, 加藤房子, 秋山耕, 小林勝利, 小島俊夫
- (2) 審査会幹事：廣上佳作, 佐々木吉一, 金岡裕司, 星信幸, 齋藤富士男

4 会議録

(13時30分開始)

○事務局(千葉班長)

定刻となりましたので、主要農作物品種審査会を開催いたします。
開会のあいさつを齋藤会長よりお願いいたします。

○齋藤会長

本日はお忙しい中、お集まりいただきまして、まことにありがとうございます。

この主要農作物品種審査会は、奨励品種の指定や決定調査に供する候補系統の選定、試験方法等について、知事の諮問を受けて審議・検討を行う審査会です。例年、2月と9月の年2回開催しております。今回の2月の審査会では、水稲と大豆について協議を行います。本日は、次年度の奨励品種決定調査に供する系統の協議に加えまして、新たに水稲の1品種1系統を奨励品種に採用することについて、ご協議いただきます。

さて、国の新たな農業政策においては、主食用米の消費減退を受け、需要に応じた生産体制の構築や、水田フル活用が推進されております。このような状況下において、宮城県では「多様なニーズに対応した売れる米づくり」や「転作作物の柱である大豆の一層の生産振興」を推進することとしております。宮城米の販売力強化に繋がる新たな水稲品種や、より高品質な大豆の安定生産に貢献する新たな大豆品種の選定は、今後ますます重要なものとなってまいります。

本日は、御出席の皆様それぞれの立場から忌憚のない御意見や御提案をいただきたいと思っております。

最後になりますが、本日お集まりいただいた関係機関・団体の皆様におかれましては、本県主要農作物の生産振興について、今後ともより一層の御協力をお願いいたしまして、開会の挨拶とさせていただきます。

○事務局(千葉班長)

ありがとうございました。それでは、審議に移る前に、本日御出席いただいております委員の皆様方の御紹介をさせていただきます。

(委員8名を紹介)

なお、今回の審査会より、古川農業試験場長にかわりまして、宮城県農業士会委員の松元裕子様を委員をお願いしております。

○事務局(千葉班長)

本日は委員8名のご出席をいただいておりますので、主要農作物品種審査会条例第5条第2項の規定により、会議が成立しておりますことを御報告いたします。なお、本審査会につきましては、情報公開条例に基づきまして、公開にて開催させていただきますので、委員の皆様には御了承願います。

それでは、これより審議に入りますが、以後の進行につきましては、主要農作物品種審査会条例の第5条によりまして、齋藤会長を議長に進めて参りたいと思っております。それでは、齋藤会長よろしくをお願いいたします。

○齋藤会長

それでは、暫時議長を務めさせていただきます。はじめに、資料の1ページに知事からの諮問文がございますので、おひらきください。諮問事項は、(1) 水稻品種「金のいぶき」を奨励品種に指定することについて、(2) 水稻系統「東北210号」を奨励品種に指定することについて、(3) 平成28年度奨励品種決定調査に供する品種(水稻)について、(4) 平成28年度奨励品種決定調査に供する品種(大豆)について、でございます。

本日は、水稻について新たに1系統1品種を奨励品種に採用することについてご審議いただきますが、これらにつきましてはいずれも、食味あるいは機能性に特徴があり、販売面での優位性を根拠に採用が提案されてございます。そこで、まず宮城県の稲作振興におけるこれらの位置付けについて説明を受け、試食をした上で審議に臨みたいと思います。

それでは、事務局より説明をお願いいたします。

○事務局(橋本補佐)

お手元の「宮城県米づくり推進基本方針」をご覧ください。今回は、会長からお話ございましたように、2つの品種系統の採用を提案するにあたりまして、栽培特性だけではなく、販売流通面においてどのような背景があるかをご説明をさせていただきたいと思います。

(宮城県米づくり推進基本方針について説明)

○齋藤会長

ありがとうございました。平成28年から5年間の計画ということで、宮城のコメをどうするかという、知恵や戦略のご紹介であったと思います。これにつきましてご質問やご意見がございましたら、お願いいたします。

○秋山委員

よろしいですか。少し辛口な意見になりますが、宮城県の販売戦略は他の県から比べれば、非常に下手に感じられます。他県は、一つの品種を県をあげて大々的にPRしている。最近では青森県だと思いますが、それまで特Aがなかったところに特A品種が出た時点で、大々的に売り出しています。

宮城県には非常に良い品種が沢山あるわけです。業務用で言えば「まなむすめ」で、私はこれにかなう品種は無いと思っています。歩留まりもよく加工業界からも喜ばれると思いますが、加工業界にはそれが知れ渡っていない状態です。

また、私は最近酒米に興味を持っているのですが、農協に聞いても、なかなか情報が入っていない。県では酒造メーカーとタイアップして酒米を振興するとのことですが、酒米があるのに、一般の米を原料にしている酒造メーカーもあるのは、価格の問題なのかそれとも情報が行き渡っていないのか。そういったことをきちんと分析しなければならぬ。

折角、素晴らしい品種を採用してもお蔵入りになってしまうことは勿体無いと思いますので、そういった点も検討していただきたいと思います。

○事務局(橋本補佐)

ご指摘の点につきまして、各関係機関とどのように連携していくのか、震災後、少し弱かった部分かと思えます。今回の基本方針は、そういった点の反省も踏まえて作成しておりますが、酒米については、今後、酒造組合さんと具体的なやり取りをしながら進めていきたいと考えます。

○國分委員

現在の宮城県の主力品種と言えば、ササニシキとひとめぼれです。今回は新たにキーとなる品種に、もちもち感という言葉が使われていますが、私にしてみればひとめぼれは十分に「もちもち」していると感じます。すると、ひとめぼれやササニシキはどう呼ぶのか、これから宣伝する際に、そういうキャッチフレーズがあれば教えて下さい。

○事務局(橋本補佐)

それについては、単に「もちもち感」と言うだけではなかなか伝わらないので、もっと適切な言葉がある

のではないかと幹事会の中でも色々議論がありました。さらに、3つの品種（ササニシキ、ひとめぼれ、東北210号）にそれぞれのフレーズが必要になります。それについては、奨励品種への採用が決定しましたら、平成28年度早々に外部の方の知恵もお借りして、PR方法も含めて良い言葉を考えたいと思います。

○國分委員

ひとめぼれと比べてもさらに違う食感を求めている、ということですね？

○事務局(橋本補佐)

この後、試食して頂きますので。

○國分委員

食べれば分かるということですね。言葉ではどうなるでしょうか。

○事務局(橋本補佐)

今までのひとめぼれが「もちり」とすれば、より強く「もちもち」という感じでしょうか。是非、ご感想をいただければと思います。

○齋藤会長

ありがとうございます。それでは、試食の準備が整っているようですので、論より証拠ということで、キャッチフレーズをここで考えられるよう、試食に入りたいと思います。それでは、試食の準備をしていただいている間に、試食についてのご説明をお願いいたします。

○事務局(永野副場長)

古川農業試験場の永野と申します。育成者を代表してご説明します。今回はひとめぼれ、東北210号、金のいぶきの3種類を準備しております。ひとめぼれと、より「もちもち」した東北210号、そしてこれまで玄米食の専用品種は無かったのですが、金のいぶきは日本で初めての専用品種となります。

なお、金のいぶきも低アミロース品種ですので、白米にすれば粘る品種です。

細かい品種特性については後ほどご説明します。

(試食開始)

○齋藤会長

食べながらご感想を述べていただければと思います。

○井城委員

金のいぶきはいくらかついた（精米した）のでしょうか？

○事務局(永野副場長)

これは100%玄米のままです。これまでの玄米だと水漬け時間がかなり長くなり、釜も選ぶのですが、これは通常の炊飯器の白米モードで炊けますので、非常に食べやすいですし、冷めても硬くなりません。通常の玄米であればおにぎりにはできませんが、この品種であれば可能です。

○國分委員

ぬか層が薄いのでしょうか？

○事務局(永野副場長)

通常の品種と変わりません。胚芽だけが大きい品種です。胚芽の部分に機能性成分、ビタミンEやGABA等が含まれています。

○井城委員

極端な話、もみすりしてゴミを除いただけの状態ということですか。

○事務局(永野副場長)

極端に言えばそうですが、実際に流通させる場合、雑菌や虫の卵がありますので、殺虫殺菌を厳密に行う必要があります。

○齋藤会長

東北 210 号は少しやわらかい感じでしたが、低アミロース品種ですから、水を加減して炊くのでしょうか？

○事務局(永野副場長)

普通の加水量よりは 1 割弱減らして炊いています。

○齋藤会長

あと、金のいぶきについて、玄米は初めて食べるのですが、おいしいなと感じました。単品で売るのでなく、3 種類セットのおにぎりのような形で、金のいぶきが入っていると、見た目にもアクセントがあって売りやすいかなとも感じました。

では、秋山委員、ご感想をお願いいたします。

○秋山委員

正直言って驚きました。こんなに美味しいとは思いませんでした。東北 210 号について、「もちもち」と表現されていましたが、私は餅をつくときに最初にふかしたご飯を食べるのが好きなのですが、あれに似ているなと感じました。むしろこちら（東北 210 号）の方がさっぱりしているかなと。

ただ、先程もお話したように、折角のすばらしい品種ですから、販売戦略をしっかりと練って世に出していただきたい。それと、金のいぶきについて、もし評判が良ければ生産者が我先にと生産を希望する可能性があります。何かしら生産条件をつけていかないといけないのかなと。健康志向が高まり、これだけおいしい玄米があれば、玄米の需要も高まるかもしれませんが、それにはやはり販売戦略が必要かと思います。ぜひ、全農さんと一緒ががんばっていただきたい。

○齋藤会長

ありがとうございます。では、菅原委員、お願いいたします。

○菅原委員

東北 210 号は以前も食べたことがあるのですが、今回はさらにおいしく感じました。炊き方が上手かったのでしょうか。秋山委員からは販売戦略についてご指摘を頂きましたが、これだけの美味しい米となれば、やはり高価格帯という形になります。但し、こうした高価格帯の米は、それほど需要があるわけではありません。各県で小さなパイを奪い合っている状態です。その中で生き残りをかけて、量は少ないですが、これもひとつの宮城米としてしっかり PR していきたいと思えます。

金のいぶきについては、全農としても、平成 28 年産から生産者に栽培拡大を依頼している状態です。先程、高価格帯の米については競争状態と申しましたが、健康志向の米というのは、まだ競争相手が少なく、狙い目と思っています。こちら販売戦略をしっかりと組みながら取り組んでいきたいと思えます。

○齋藤会長

では、加藤委員お願いいたします。

○加藤委員

我が家では白米に飽きると十五穀米などを食べますが、その際に少しもち米を混ぜて炊きます。東北 210 号だともち米無しでも美味しく食べられそうだと感じました。教えていただきたいのですが、もちもちした食味が好きな年齢層というのはあるのでしょうか。それとも、各年代にそういう嗜好の方がいらっしゃるの

でしょうか。

それから、金のいぶきについては、非常に美味しくて驚きました。販売するときは「金のいぶき」の前に健康志向をうたう言葉などを付けて、付加価値をつけると良いのではと思います。高齢化が進んで量を食えない世代にも、少量で付加価値のあるお米は受け入れられると思います。生協の客層も高齢化が進んでいますが、そういうお米があれば売れるのかな、と感じます。

○齋藤会長

ありがとうございました。まだまだご意見があると思いますが、審議を進めたいと思います。それでは、(1) 水稻品種「金のいぶき」を奨励品種に指定することについて、事務局よりご説明願います。

○事務局(星部長)

古川農業試験場の星と申します。それでは、ご説明いたします。
(資料1に基づき、金のいぶきの栽培試験結果等について説明)

○齋藤会長

ありがとうございました。それでは、ご質問をお願いいたします。

○秋山委員

近年、宮城県の米は高温障害で品質を落としています。この品種の耐暑性はどれほどなのでしょう。私は以前、たきたてを栽培していましたが、一度も一等米になったことがありません。低アミロース品種はもちと同じように粒が白くなる可能性があるわけですが、この品種の品質はどうなのでしょう。

また、多肥栽培には向かないとの説明ですが、耐倒伏性についてはどうでしょうか。

○事務局(永野副場長)

高温耐性についてですが、低アミロース品種ですから高温による白濁はあります。しかし、農産物検査について農政局と協議しており、品種特性に応じた検査をして欲しいと要望しています。農政局からは、品種固有の特性であれば、白濁したからといって等級を落とすことはないとの回答を得ています。ですから、しっかり作っていただければ一等は取れる品種です。

倒伏については、過剰生育になると草がで過ぎ繁茂になるため、倒伏は起こります。ただし、同じ条件で栽培すればみやこがねもち等よりは明らかに倒伏耐性は強いです。

○齋藤会長

ありがとうございました。いずれも、品種特性をしっかり把握して栽培すれば問題ないということですね。他にございますか。

○秋山委員

もうひとつ、県の奨励品種の最低普及面積は200haだと思いますが、普及見込み200haということは、それ以上の栽培は望んでいないということですか？

○事務局(橋本補佐)

現在は1000tの需要が見込まれており、その面積が200haということです。作付けを推進する中で、より大きな需要があれば、当然、栽培面積も拡大します。ただ、まだそこまでの潜在需要が明らかではないため、現時点では200haを目標にしております。

○齋藤会長

その他ございますでしょうか。それでは、(1) 水稻品種「金のいぶき」を奨励品種に指定することについて、原案どおりで適当としてよろしいでしょうか。

○委員一同

(異議なし)

○齋藤会長

ありがとうございます。それでは、(1) 水稻品種「金のいぶき」を奨励品種に指定することについては、適当であるとさせていただきます。

○齋藤会長

では、続きまして、(2) 水稻系統「東北210号」を奨励品種に指定することについて、事務局より説明願います。

○事務局(星部長)

(資料2に基づき、東北210号の栽培試験結果等について説明)

○齋藤会長

ありがとうございました。それでは、ご質問をお願いいたします。

○秋山委員

これと比較する品種はたきたてだと思いますが、先ほど申しましたが、低アミロース品種はどうしても品質に難があると感じますが、この品種の高温耐性はどのようなのでしょうか。それから、たきたてについては、最初に業務用米として導入した際に、冷めても美味しいので、3割程度混ぜて炊くと良いというキャッチフレーズで売り出しましたが、今度の東北210号はあくまで主食用との考え方で良いのでしょうか。

○事務局(永野副場長)

まず、高温耐性ですが、この系統はたきたてよりもアミロース含量が高いため、白濁はしにくいです。また、やや小粒であり、品質はひとめぼれよりも安定して良いです。ですから、品質面では問題ありません。ただ、やや小粒ですから整粒歩合については、篩目をどうするかなどが気になるかもしれません。

○事務局(星部長)

ただ今の説明のとおり、品質面は問題ありません。また、たきたてはアミロース含量が非常に低いため混ぜて使われることもあります。今回の東北210号はたきたてに比べてアミロース含量がやや高いため、ひとめぼれやササニシキ同様、単体での主食用を考えております。

○齋藤会長

ありがとうございました。他にございますでしょうか。

○井城委員

食感については先程試食させていただき、ひとめぼれが「もちもち、あっさり」であれば東北210号は「もちもち、もちり」という感じだったと思います。ただ、生産者の視点で考えると、粒が小さく、試験結果を見ると平成27年度など収量が低い年があるようですが、奨励品種決定調査の現地ほ場を担当された生産者さんからは、作りにくいという声はなかったのでしょうか？

○事務局(星部長)

初期で莖数が不足すると、穂数不足でどうしても収量が減ります。特に、一穂粒数はひとめぼれ以上ですから、穂数が不足すると収量が大きく下がることとなります。奨励品種になりましたら、一般栽培開始までに、このあたりをカバーできる栽培指針を示していきたいと思っております。

○齋藤会長

ありがとうございました。他にございますでしょうか。では私からですが、試験成績を見ると篩目が1.8ミリと1.9ミリのデータが記載されており、当然ですが1.9ミリで篩うと収量が減るわけですが、実際の栽培においてどちらを使う見通しなのか、篩目によって玄米等級に差はでないのか、教えてください。

○事務局(星部長)

ひとめぼれについては1.9ミリが主流になっており、通常、奨励品種決定調査では1.8ミリを使うため、両方の数字を出しております。品質的には先程もありましたが、ひとめぼれよりも優る傾向がありますので、粒が小さいからといって品質が悪くなるということはありません。

○齋藤会長

その他ございますでしょうか。それでは、(2) 水稻系統「東北210号」を奨励品種に指定することについて、原案どおりで適当としてよろしいでしょうか。

○委員一同

(異議なし)

○齋藤会長

ありがとうございます。それでは、(2) 水稻系統「東北210号」を奨励品種に指定することについては、適当であるとさせていただきます。

○齋藤会長

では、続きまして、(3) 平成28年度奨励品種決定調査に供する品種(水稻)について、事務局より説明願います。

○事務局(星部長)

(資料3-1に基づき、次年度の調査系統について説明)

○齋藤会長

ありがとうございました。それでは、ただいまのご説明に対してご質問をお願いいたします。

○井城委員

蔵の華は現在唯一の酒米の奨励品種ですが、ただいまご説明のありました東北酒217号と218号について、収量はどうだったのか、次年度で本調査2年目になるわけですが、調査1年目の結果を教えてくださいませんか。

○事務局(星部長)

試験成績書をご覧ください。aあたりの玄米重を見ますと、蔵の華が63.2kgに対して、東北酒217号が65kg、東北酒218号は64.6kgであり、千粒重は大きく収量はやや優るといった評価をしております。

○秋山委員

関連ですが、宮城県で酒造好適米はどれくらいの面積栽培されているのか、また、価格はどれほどなのか、お聞かせください。

○事務局(橋本補佐)

面積につきましては県より回答いたします。なお、価格につきましては、お分かりになりましたら、全農さんから補足で説明をお願いいたします。

種子を配布した実績から申しますと、蔵の華151haとなっております。その他、掛米として利用されるトヨニシキという品種がございますが、こちらは131ha作られております。

○秋山委員

面積的には奨励品種の採用基準である200haに足りないと思いますが、今後奨励品種から外すのでしょうか。

○事務局(橋本補佐)

奨励品種の廃止につきましては、3年続けて100haを下回ることが目安となっております。ただし、酒造好適米はしっかりした需要がありますので、今後も続けていく方針です。

○菅原委員

価格ですが、全農は酒造組合との取引のみで、酒蔵との直接取引はありません。加工用米、掛米としてひとめぼれやササニシキ、まなむすめなども販売しています。掛米については、通常のひとめぼれなどの相対価格で販売しています。酒造好適米についてはひとめぼれを基準にして、例えばプラス1,000円や1,500円といった価格を設定しています。

○秋山委員

日本酒は酒造好適米で作られるものと思っていましたが、宮城県ではそれ以外の品種も使われているということでしょうか。

○菅原委員

必ずしも酒造好適米でお酒を造っているというわけではありません。

○齋藤会長

その他ございますでしょうか。それでは、(3)平成28年度奨励品種決定調査に供する品種(水稻)について、原案どおりで適当としてよろしいでしょうか。

○委員一同

(異議なし)

○齋藤会長

ありがとうございます。それでは、(3)平成28年度奨励品種決定調査に供する品種(水稻)について、適当であるとさせていただきます。

○齋藤会長

では、続きまして、(4)平成28年度奨励品種決定調査に供する品種(大豆)について、事務局より説明願います。

○事務局(星部長)

(資料3-2に基づき、次年度の調査系統について説明)

○齋藤会長

ありがとうございました。ご質問をお願いしたいと思います。では、私から質問いたします。最下着莢高について、機械収穫を考えると重要な形質だと思いますが、栽培技術での克服はある程度可能なのでしょうか。

○事務局(星部長)

近年、晩播で狭畦栽培をすることが行われますが、この場合、ある程度莢の位置は多少高くなります。しかし、大きくは上がりませんので品種の特性は重要ですし、環境によって莢の位置が下がることもありますので、品種として重要な要素ということになります。

○齋藤会長

ありがとうございました。その他ございますでしょうか。

○國分委員

成績表の中で、病害粒については紫斑病や褐斑病の項目がありますが、最近、水田での作付比率が高まり、

宮城以外では立枯性病害の発生比率が高まっています。立枯性病害にも色々種類はありますが、少なくとも黒根腐病は観察で識別できますから、可能であればこうした立枯性病害の項目も加えていただき、意識して強い系統を選んでいただければと思います。

○事務局(星部長)

場内はほ場条件が良いため、立枯性病害が出にくい条件ですが、宮城県でも茎疫病と黒根腐病は重要病害と考えておりますので、現場での状況も見まして、しっかりと確認していきたいと思います。

○齋藤会長

その他ございますでしょうか。それでは、(4)平成28年度奨励品種決定調査に供する品種(大豆)について、原案どおりで適当としてよろしいでしょうか。

○委員一同

(異議なし)

○齋藤会長

ありがとうございます。それでは、(4)平成28年度奨励品種決定調査に供する品種(大豆)について、適当であるとさせていただきます。

○齋藤会長

以上で諮問事項に対する審議を終了させていただきます。続きまして、答申案をまとめたいと思いますが、いかがいたしましょうか。

○各委員

議長一任

○齋藤会長

それでは、議長一任との声をいただきましたので、原案が適当である旨を答申させていただきます。なお、具体的な答申内容につきましては、私と事務局に一任いただけますでしょうか。

○各委員

異議なし

○齋藤会長

それでは、その他について事務局から何かございますでしょうか。

○事務局(千葉班長)

事務局からはございません。

○齋藤会長

それでは、以上をもちまして審査会の議事を終了させていただき、以後の進行を事務局にお返しします。ご審議ありがとうございました。

○事務局(千葉班長)

長時間のご審議いただき、ありがとうございました。それでは、以上をもちまして、本日の品種審査会を終了させていただきます。

(15時25分終了)